

第 38 回 安田女子大学・安田女子短期大学 エッセイコンクール

課題部門 テーマ：女性のリーダーシップ

学長賞「チームリーダーになって感じたこと」

児童教育学科 4年2組 橋本真生

私は引越しのアルバイトをしています。引越しと言えば、マッチョの男性が数人で訪れて作業をしていくイメージが強いと思います。引越しはもちろん力仕事であり、とても体力やパワーを問われる業種です。そのため、どうしても、女性の立場が弱いと考えられがちです。しかし、そんな女性ができること、女性でしかできないことがあることに気づき、どんな業種でも男女問わず輝けるのではないかと考えました。

まず、引越しのスタッフの仕事について述べます。引越しは段ボールを運んだり、家具や家電を梱包したりします。女性のもとも持っている力は男性には劣り、中には重たくて女性には持ち上げにくいものもちろんあります。しかし、様々な工夫をして運びやすくすることができます。バンドを巻いたり、位置を変えたりすることによって持ちやすくするといった工夫をし、コツをつかめばある程度のものは持てるようになります。このように男女の差を少しずつ埋めることができ、女性スタッフも活躍できる環境がつくられていました。

私は引越しのアルバイトを始めて四年になりますが、三年目にはチームリーダーを任されるようになりました。引越しでのチームリーダーとは、その引越しの作業責任者のことです。お客様とコミュニケーションをとったり、お金のやり取りをしたりするだけではなく、作業の段取りを考え、一緒に作業するスタッフに指示を出したり、業務の人と連絡を取ったりするなど、責任をもって作業することが問われる役割です。作業の段取りがうまくいけば、女性でもたくさんの作業をこなすことができることを実感しました。また、引越しのアルバイトはだいたい単発での雇用であるため、スタッフの入れ替わりが激しいと言えます。そのため、一緒にまわる新人アルバイトスタッフの指示も必要です。作業を効率よく進めるために丁寧な指導を行い、連携をとっていかなければなりません。

引越しの業界はまだまだ男社会です。お客様も、トラックのドライバーも「女性が運ぶの？できるの？」といった顔をする人もいます。そういう時は、笑顔で「お任せください」「できます！」と返します。するとみなさん安心して作業を任せられることができますと思います。でも、持ち上げるのが難しいものは遠慮なく男性スタッフにお願いすることも大切であると感じます。自分の立場を保ちつつ、チームで助け合って作業を進めていく必要があります。

私は、引越しのチームリーダーをすることで、女性リーダーにまだ偏見があることも、女性リーダーだからこそできることもあるのだと分かりました。

以上のようなアルバイトの経験から、男性の立場が上になるような業界でも、女性もリーダーシップをとる事ができると分かり、どんな状況でも女性もリーダーシップをとること

ができると気づきました。女性がリーダーシップをとるためには、堂々とするのが大切であると考えます。男女どちらともになめられないように振る舞うには、自分の考えに自信を持ち、堂々とするのが必要です。男女平等が求められている社会ではありますが、やはり、男性にしかないもの、女性にしかないものはあるように感じます。女性固有の特長である優しさや周囲を気遣う性質は信頼を得たり、メンバーの気持ちを聞いたり、意見を取り入れたりすることを持ち合わせていることが多く、意識しなくてもできると言えます。また、女性がリーダーになることは、イメージの向上につながることも考えます。現場の雰囲気が柔らかくなったり、コミュニケーションが増えたりすることにつながります。

リーダーになるには、まずは信頼される人にならなければなりません。自分に与えられた仕事を全うし、自分の考えを持ち、周りの人の意見に耳を傾けるといったどんな立場でも自分ができることを、責任をもってすることが重要です。

女性のリーダーシップはどの業界でも必要であると考えます。企業がもっと女性が働きやすい環境を整え、男女問わず活躍できるようになればよいと思います。